

「広島市地球温暖化対策実行計画」の改定について」に対する環境審議会委員の意見と回答

該当箇所		意見	回答
現行計画の評価	温室効果ガス排出量	<p>温室効果ガス排出量の推移のグラフにおいて、「(1) 区域施策編」の令和元年度と、「(2) 事務・事業編」の令和2年度に(速報値)と記載されているのは正しいのか。</p> <p>【内藤(佳)委員】</p>	<p>ともに、現時点では「速報値」になります。</p> <p>【環境局温暖化対策課】</p>
計画改定の方向性	温室効果ガス排出量削減目標	<p>中期目標については、いわゆるバックキャストिंगの発想を持ち、「長期目標を見据えて」などの長期目標を達成するための設定という考え方がはっきりと見えるようにした方が良いのではないか。</p> <p>【西嶋会長】</p>	<p>御意見を踏まえ、素案を作成する際、長期目標を見据えた中期目標の設定とわかりやすいよう記載することを検討したいと考えています。</p> <p>【環境局温暖化対策課】</p>
		<p>中期目標の「削減効果の積上げ等により目標を設定する」を「削減効果の積上げと長期目標を達成できる目安等により目標に設定する」としたい。</p> <p>【谷本委員】</p>	
		<p>広島市域の温室効果ガス吸収量の現状を集計・提示することは可能か。また、可能であれば、2030年度までの中期目標に吸収量の目標を設定してはどうか。</p> <p>【内藤(望)委員】</p>	
			<p>本市域の温室効果ガス吸収量は、「(参考資料2)本市の温室効果ガス排出量」の2ページに森林吸収源による吸収量を記載しています。</p> <p>御提案いただいた吸収量の目標については、素案を作成する際、設定することを検討したいと考えています。</p> <p>【環境局温暖化対策課】</p>

該当箇所		意見	回答
計画改定の方向性	施策の考え方	<p>「・・・気候変動の影響が疑われる自然災害等が本市でも発生するなど、市域内においてもその影響が顕在しつつあることから・・・」を「・・・気候変動の影響が疑われる自然災害等が本市でも発生し、また夏季の暑熱環境が厳しくなるなど、市域内においてもその影響が顕在しつつあることから・・・」としてはどうか。</p> <p style="text-align: right;">【田中副会長】</p>	<p>御提案いただいた暑熱環境については、素案を作成する際、検討を行いたいと考えています。</p> <p style="text-align: right;">【環境局温暖化対策課】</p>
その他		<p>一般市民の意識と行動の変容を促す取組を今以上に行うことも重要だと考えている。</p> <p>特に、これからの社会の形成者である若年層への取組は大切である。</p> <p style="text-align: right;">【土井委員】</p>	<p>御提案のあった若年層への取組については、素案を作成する際、整理したいと考えています。</p> <p style="text-align: right;">【環境局温暖化対策課】</p>
		<p>温室効果ガス排出量の推移のグラフや表等の単位は t-CO2か、それとも t-CO2e (t-CO2eq)か。</p> <p>※非 CO2 の温室効果ガス (メタン、N2O、フロン類など)、地球温暖化係数をかけて二酸化炭素換算排出量を算出したものを t-CO2e という。</p> <p style="text-align: right;">【沖村委員】</p>	<p>本計画におけるグラフ等の単位は、全て二酸化炭素以外の温室効果ガスに地球温暖化係数をかけた t-CO2e です。</p> <p>今後の表記の在り方については、国や他の自治体の計画なども参考にしながら検討したいと考えています。</p> <p style="text-align: right;">【環境局温暖化対策課】</p>